

平成 20 年
12 月 24 日

病害虫発生予報 1 月号

茨城県病害虫防除所
茨城県植物防疫協会

全ての農作物に残留農薬基準が設定されています！！

薬剤散布の際は周辺作物へ飛散しないよう十分注意しましょう

< 目 次 >

・ 今月の予報

【注意すべき病害虫】

イチゴ：うどんこ病，ハダニ類 1

【その他の病害虫】 2

促成ピーマン，促成トマト，促成キュウリ

・ 病害虫ミニ情報

施設野菜に発生する灰色かび病の防除対策について 3

平成 21 年版果樹等病害虫参考防除例（旧称防除暦）の改正点について 5

・ 今月の気象予報 7

・ テレホンサービス 7

029(226)5321

農薬登録速報については，農林水産省ホームページ「農薬コーナー」
<http://www.maff.go.jp/nouyaku/> 内の登録速報を参照してください。

詳しくは，病害虫防除所へお問い合わせ下さい。

茨城県病害虫防除所 Tel :029-227-2445

予報内容は，ホームページでも詳しくご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>

・今月の予報
【注意すべき病害虫】

イチゴ

1. うどんこ病
[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	やや多い~多い	県下全域

[予報の根拠]

12月中旬現在、平年よりやや多い~多い発生である。
気象予報によると、向こう1か月の日照時間及び降水量は平年並と予想され、特に発生を助長する条件ではない。

[防除上注意すべき事項]

罹病した葉や果実などは、ハウス内に放置せずにハウス外へ持ち出し、土中深く埋める。
果実に発生すると被害が大きくなるため、防除を徹底する。特に「とちおとめ」は、うどんこ病に罹病しやすいため、注意が必要である。
薬剤散布にあたっては、下葉を取り除き、葉裏や葉柄にもよく付着するよう十分な量で丁寧に散布する。また、使用回数、収穫前日数にも十分注意する。
薬剤耐性菌の出現を防ぐため、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

2. ハダニ類
[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
-	やや多い~多い	県下全域

[予報の根拠]

12月中旬現在、平年よりやや多い発生である。
気象予報によると、向こう1か月の気温は平年並か高いと予想され、発生をやや助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

発生が多くなると防除が困難になるため、発生状況をよく観察する。なお冬期に発生が見られると、気温の上昇にともない春期の発生が多くなる傾向があるので注意する。
薬剤散布にあたっては、下葉を取り除き、葉裏や葉柄にもよく付着するよう十分な量で丁寧に散布する。また、使用回数、収穫前日数にも十分注意する。
薬剤抵抗性ハダニ類の出現を防ぐため、同一薬剤の連用はさける。

【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
促成 ピーマン	斑点病	発生量：平年並	12月中旬現在，平年並の発生である。
促成 トマト	灰色かび病	発生量：平年並	12月中旬現在，平年並の発生である。 (病害虫ミニ情報 P3～4 参照)
促成 キュウリ	べと病	発生量：平年並～ やや多い	12月中旬現在，平年並からやや多い発生である。
	褐斑病	発生量：平年並～ やや多い	12月中旬現在，平年並からやや多い発生である。

施設野菜に発生する灰色かび病の防除対策について

灰色かび病は、野菜、花き、果樹など多くの作物を侵す多犯性の病害です。20 くらいで多湿条件下になると発生が多くなり、好適条件が続くとしばしば大きな被害をもたらします。

本年は、12月中旬現在、施設野菜における発生は概ね平年並となっています。また、気象予報によると、向こう1か月の降水量、日照時間も平年並と予想されています。しかし、過去10年間に於ける当所の調査データでは、冬期から春期にかけて本病の増加が見られますので(図1)、以下の基本事項に注意して対策を講じて下さい。

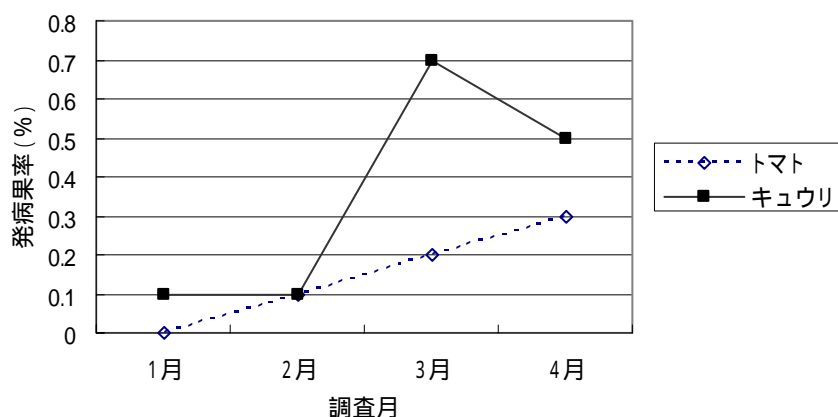


図1 灰色かび病発病果率の推移
(過去10年間の平均値)

耕種的防除

ハウス内を多湿にしない

灰色かび病の防除対策では、ハウス内を多湿状態にしないことが重要です。必要以上の灌水はさけ、昼近くなっても作物に水滴が残っている場合は、換気、送風、暖房等による除湿に努めて下さい。また通路もマルチで被覆すると、土壌表面からの水分蒸散を抑制し、湿度の上昇を抑える効果があります。

適正な株の管理

葉や枝が過繁茂になると通風が悪く、多湿条件になりやすくなります。また殺菌剤もかかりにくくなります。適度な整枝や葉かきを行い、通風がよくなるよう心がけて下さい。

発病部位の処分

発病部は伝染源となるため直ちに取り除き、ハウス外に持ち出して土中深く埋める等の処分をして下さい。

生物的防除

微生物農薬を利用した防除として、ボトキラー水和剤やインプレッション水和剤等を発病前～発病初期に散布する方法があります。なお、ボトキラー水和剤は灰色かび病の発生前から暖房のダクト内に投入する省力的な方法もあります。灰色かび病の発生前に、本剤と化学殺菌剤を散布した後、3月下旬までダクト内に本剤を毎日投入します。なお併用する化学殺菌剤には適否があるので注意して下さい。通常では1月中はこの方法で防除が可能です。2月下旬は灰色かび病の重要な防除時期になるので、化学殺菌剤の散布も行なって下さい。3月下旬以降に発生を確認したら、ダクト内投入を止め、化学殺菌剤主体の防除に切り替えて下さい。

(詳細は、平成18年度農業総合センター普及に移す成果を参照)

化学的防除

灰色かび病は、発生初期の防除が重要です。特に発生に適した条件が続いた場合は、圃場内の発生状況をよく確認し、上記の耕種的対策を講じたうえで、薬剤による防除を実施して下さい。主な薬剤は表1のとおりです。薬剤散布の際は耐性菌の出現を避けるために、系統の異なる薬剤のローテーション散布を心がけて下さい。

なお、農薬名(商品名)が異なっても同一の有効成分を有する剤もありますので、有効成分の総使用回数をオーバーしないよう十分注意して下さい。また曇雨天が続く場合は、くん煙剤の利用も検討して下さい。

表1 灰色かび病に登録のある主な薬剤(平成20年12月3日現在)

系統番号 ¹⁾	薬剤名 (有効成分名)	灰色かび病に対する登録の有無				
		トマト	ミニトマト	ピーマン	キュウリ	イチゴ
	ボトキラー水和剤 (バチルス スプサイス)					
	インプレッション水和剤 (バチルス スプサイス)					
	フルピカフロアブル (メバニピリム)					
	フルピカくん煙剤 (メバニピリム)					
	セイピアーフロアブル 20 (フルジオキシニル)					
+	ジャストミート顆粒水和剤 (フルジオキシニル + フェンヘキサミド)					
+	ダイマジン (フェンヘキサミド + イミノクタジン)					
	ゲッター水和剤 (チオファネートメチル + ジエトフェンカルブ)					
	スミレックス水和剤 (フロシミドン)					
	ロブラール水和剤 (イプロジオン)					
	ロブラールくん煙剤 (イプロジオン)					
	ベルケート水和剤 (イミノクタジン)					
	ポリオキシ AL 水和剤 (ポリオキシ)					
	カンタスドライフロアブル (ボスカリド)					
	サンヨール (DBEDC)					
	カリグリーン (炭酸水素カリウム)					

1) 系統番号に対応する系統名は以下のとおり。

：微生物剤， ：アニリノピリミジン剤， ：フルジオキシニル剤， ：フェンヘキサミド剤，
：ジエトフェンカルブ剤， ：ジカルボキシイミド系剤， ：イミノクタジンアルベシル酸塩剤，
：抗生物質剤， ：ボスカリド剤， ：銅剤， ：炭酸水素塩剤

農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載の使用方法、注意事項等を確認のうえ使用して下さい。

平成 21 年版果樹等病害虫参考防除例（旧称 防除暦）の改正点について

参考防除例は、主要な病害虫の発生生態および平年の発生状況に基づき、薬剤耐性・抵抗性の回避などを考慮し、効果的な防除時期と薬剤を選定して示しています。一方で、過度の農薬散布を防ぎ、周辺作物へ農薬が飛散するリスクを下げるためにも、スケジュール散布は避ける必要があります。そこで、参考防除例の活用にあたっては、環境にやさしい防除技術を導入した上で、病害虫防除所の発生予察情報や自分の圃場における病害虫の発生状況を十分確認して、必要に応じて農薬による防除を行うようにしましょう。

参考防除例の作物ごとの主な改正点は以下のとおりです。なお、改正のあった箇所については、特に注意して防除にあたって下さい。

赤ナシ無袋栽培（表 1）

- ・6月中旬...黒星病防除のため、キャプレート水和剤をナリアWDGに変更しました。それに伴い、対象病害虫に黒星病を追加しました。
- ・注意事項欄...黒星病防除のため、りん片脱落直前に「黒星病の伝染源となるので、芽基部の病斑は見つけ次第取り除く」、7月中旬に「降雨が多い年や黒星病、輪紋病多発園ではベルコートフロアブルを散布する」という記載を追加しました。

露地巨峰（表 2）

- ・新梢伸長期 展葉 6～8 枚（5 月中旬）...晩腐病防除のため、アリエッティ C 水和剤の希釈倍数を 800 倍から 600 倍に変更しました。
- ・小豆粒大期...チャノキイロアザミウマ防除のため、アドマイヤー水和剤を追加しました。
- ・幼果期...より適切な表現にするため、幼果期（小豆粒大）、幼果期（大豆粒大）を、小豆粒大期、大豆粒大期（幼果期）としました。

リンゴ（表 3）

- ・展葉初期（4 月中旬）および開花直前（4 月下旬）...現地の農薬散布状況や病害虫発生状況などから判断し、表 3 のように殺菌剤を一剤削減しました。
- ・6 月中～下旬...リンゴハダニ適期防除のため、オサダンフロアブルを追加しました。また、ダニの抵抗性発達を避けるため、注意事項欄に別のダニ剤を記載し、選べるようにしました。
- ・7 月下旬～8 月上旬...リンゴハダニ防除薬剤を 6 月中～下旬に追加したため、本欄に記載されていたダニ剤は注意事項欄に記載しました。また、ハマキムシ類等の防除のため、サイアノックス水和剤を本欄に追加しました。

チャ（表 4）

- ・夏芽生育期（8 月上～下旬）...現場の農薬散布状況や防除効果などから判断し、ラービフロアブルを、ファルコンフロアブルに変更しました。

表1 赤ナシ無袋栽培病害虫参考防除例変更点

平成20年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
6月中旬	アブラムシ類 シンクイムシ類 クワコナカイガラムシ	スブラサイド水和剤
	輪 紋 病	キャプレート水和剤

平成21年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
6月中旬	アブラムシ類 シンクイムシ類 クワコナカイガラムシ	スブラサイド水和剤
	黒 星 病 輪 紋 病	ナリアWDG

表2 露地巨峰病害虫参考防除例変更点

平成20年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名	希 積 倍 数
新梢伸長期 展葉6~8枚 (5月中旬)	黒 と う 病 ベ と	アリエティック 水和剤	800倍
(中略)			
時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名	
幼果期 (小豆粒大)	べ と 斑 病 褐 腐 病 晩 黒 と う 病	サニパー	
幼果期 (大豆粒大)	べ と 斑 病 褐 腐 病 晩 さ び と う 病	アミスター10フロアブル	

平成21年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名	希 積 倍 数
新梢伸長期 展葉6~8枚 (5月中旬)	晩 腐 病 黒 と う 病 ベ と	アリエティック 水和剤	600倍
(中略)			
時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名	
小豆粒大期	チャノキイロアザミウマ べ と 斑 病 褐 腐 病 晩 黒 と う 病	アドマイヤー水和剤 サニパー	
大豆粒大期 (幼果期)	べ と 斑 病 褐 腐 病 晩 さ び と う 病	アミスター10フロアブル	

表3 リンゴ病害虫参考防除例変更点

平成20年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
展葉初期 (4月中旬)	ハマキムシ類 アブラムシ類 ギンモンハモグリガ	スブラサイド水和剤
	赤 星 病	ジマンダイセン水和剤
開花直前 (4月下旬)	赤 星 病	バルノックスフロアブル
(中略)		
7月下旬~ 8月上旬	ナ ミ ハ ダ ニ リ ン ゴ ハ ダ ニ 斑 点 落 葉 病 輪 紋 病 炭 疽 病 すす 点 病 すす 斑 病	カネマイトフロアブル フリントフロアブル25

平成21年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
開花直前 (4月中~ 下旬)	ハマキムシ類 アブラムシ類 ギンモンハモグリガ	スブラサイド水和剤
	赤 星 病	ジマンダイセン水和剤
6月中~下旬	リ ン ゴ ハ ダ ニ	オサダンフロアブル
(中略)		
7月下旬~ 8月上旬	ハ マ キ ム シ 類 シ ン ク イ ム シ 類 ア ブ ラ ム シ 類 ギ ン モ ン ホ ソ ガ 斑 点 落 葉 病 輪 紋 病 炭 疽 病 すす 点 病 すす 斑 病	サイアノックス水和剤 フリントフロアブル25

表4 チャ病害虫参考防除例変更点

平成20年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
夏芽生育期 (8月上~ 下旬)	チャノホソガ チャノコカクモンハマキ チャハマキ	ラービフロアブル

平成21年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名
夏芽生育期 (8月上~ 下旬)	チャノホソガ チャノコカクモンハマキ チャハマキ	ファルコンフロアブル

本文に記載された農薬の登録内容は、平成20年12月1日現在のものです。

・今月の気象予報

関東甲信地方 1 か月予報

(予報期間 12月20日から1月19日)

気象庁(12月19日 発表)

< 向こう1か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率(%) >

[確率]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	20	40	40
降水量	関東甲信全域	30	40	30
日照時間	関東甲信全域	30	40	30

[概要]

天気は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並または高い確率ともに40%です。

< 1週目の予報 > 12月20日(土曜日)から12月26日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率 50%

< 2週目の予報 > 12月27日(土曜日)から1月2日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並の確率 40%

< 3週目から4週目の予報 > 1月3日(土曜日)から1月16日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率 40%

・テレホンサービス

下記の情報を24時間提供しています。リアルタイムな情報を提供するために、病害虫の発生状況等によっては内容を変更することがあります。

電話番号：029(226)5321

1月上旬 農薬の保管管理について

1月下旬 施設野菜病害虫の発生現況と防除対策について

農薬を使用する際は

- 1 使用する農薬のラベルを必ず確認し, 適用作物, 使用方法, 注意事項等を守りましょう。
- 2 散布時には, 周辺作物に飛散(ドリフト)しないよう注意しましょう。
- 3 農薬の使用状況を正確に記録しましょう。
- 4 使用後は散布器具やホース内等に薬液を残さず, 良く洗浄しましょう。